

り房や故よりいづれをわすれ
とくまの波まの身と人をして

月見詠 義人九少辨光景

多れにわくう程をわたり
月見のうらみの心とさめらん

蕭寺曉澄 棺中納言慈恩

祢うんうらみの心とさめらん
ありわたりて、さびしうとて

蘇清夕照 従三位高久

波のうらみの心とさめらん

くくゆくみれゆよるそそ

浮海翠松 従一位通議

塩くゆくくくゆくくくゆく

うゆくゆくゆくゆくゆく

海濱漢火 正二位通躬

屋とけふたふたれとやゆく

ちくくゆくゆくゆくゆく

富山書堂 権中納言為綱

葉かたけくくくゆくゆく

くくゆくゆくゆくゆく

惟寬松活投素之名區奧陽
之勝境也人目之所瞻多野
老市臺同而知之往其地在
京甚遠公視公鄉縉紳游
觀高車之撤雖自古有其

欽頗見之京於畫圖和其
勝於傳圖未見旁稱其景
茲記之勝者豈不益恨哉
予思之不措撰為地義京可
稱者八為題請出題于冷泉
英口為網鄉常泳欽于公
俊輩八人各詠一首和欽已
成今在自書寫以藏之于極
和而所殆雖似好景因和欽
以著為勝之實且為後志

珠玩不亦乎乎且為

平時正德甲午年仲春

寅令方日 翰林中郎

鄭軍公入公者一音

...

右和訣作者三

通誠

久我

從一位前內人

豐忠

廣德

正二位權人納言

經音

大政門

正二位權人納言

通躬

中院

正二位前權人納言

惟通

久我

從二位權中納言

種克

日野

從二位權中納言

為綱

冷泉

從二位權中納言

公長

尾早

正三位宰相

有孫

穴條

正三位宰相

實隆

或右為

從二位前宰相

通茂

久之

正三位

為信

藤谷

從三位

實岑

押上

從三位

為久

冷泉

從三位

惟永

竹内

正四位下彈正大臣

雅季

清水谷

正四位下左中將

公野

武果

從四位上右中將

資時

若菜

從四位下右兵衛佐

實積

尾早

從四位下右中將

光榮

若丸

正五位上左大臣

已上

018868

